

実施事業一覧

(別紙2)

実施年度	事業の概要	事業の詳細	実績
H28～	<p>●車両のラッピング、方面別カラーリング等の実施 コミュニティバスに愛着を持ってもらうためラッピングや方面別にバス車両のカラーリングを行った。</p>	ラッピングデザインは町内の小中学生から募集を行い、そのデザインをもとにラッピングを行った。	広陵元気号、全車両について実施
H28～	<p>●広陵元気塾との政策間連携 健康増進を目的として毎月開催されている広陵元気塾に参加している健康意識の高い住民に対して広陵元気号の利用促進を行った。</p>	無料乗車券を配布し利用促進を図ったほか、路線再編時にはチラシの配布、ポスターの掲示などを実施した。	元気塾への参加者 平成29年度 1,442名 平成30年度 1,847名 令和元年度 1,814名 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により未実施 ※平成28年度データなし
H29	<p>●交通シンポジウムの開催 平成30年3月24日に交通シンポジウムを開催した。</p>	公共交通の必要性及び利用啓発を図るため、主に地域住民を対象とする交通シンポジウムを開催した。	218名出席
H29～	<p>●バスの乗り方教室の実施 小学校6年生（一部5年生）を対象にモビリティ・マネジメント（バスの乗り方教室）を実施した。</p>	将来の公共交通の利用者である小学生に、バス（広陵元気号）についての知識を深め、公共交通のあり方を伝える講座を開催し、バスの利用促進を図った。	参加者数（小学生） 平成29年度 359名 平成30年度 371名 令和元年度 332名 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により未実施
H28、H30（一部変更）	<p>●時刻表の作成・配布 コミュニティバスの運行内容が変更になるのを機に、時刻表を作成し、町内全戸に配布、公共施設等への設置を行った。</p>	コミュニティバスだけでなく、鉄道や路線バスが一体となった公共交通総合時刻表を作成した。	町内全戸配布及び公共施設に設置
R1	<p>●公共交通総合時刻表の表紙に掲載する絵の募集 「広陵元気号」を通して子どもたちの地元への愛着を育てるとともに、町民には再編後の時刻表に親しみを感じてもらえるよう、小学生の絵を再編後の時刻表の表紙に掲載した。</p>	町内5校の小学5年生を対象に広陵元気号の絵を募集し、各小学校から入賞作品を選定し、時刻表に掲載した。	応募数（町内5校） 765作品
H30～	<p>●広陵元気号標語募集の実施 「広陵元気号」が地域の公共交通であることを子どもたちに伝えるとともに、その保護者にも周知を行い、利用促進を図った。</p>	町内5校の小学6年生を対象に標語を募集し、優秀作品は車体へのラッピング、乗り方教室でのノベルティ（ものさし）に印字し参加者に配布した。	応募数（町内5校） 平成30年度 340標語 令和元年度 266標語 令和2年度 342標語

H29 ~	<p>●お買い物ポイント制度(広陵元気号利用ポイント制度)の実施 町内の商業施設と連携し、無関心層の取り込みを行った。</p>	<p>「広陵元気号」の利用でポイントが貯まり、20ポイントで協賛店舗の指定商品と交換できるカードの配布を行った。 (H29.11~) H29~3店舗(イズミヤ広陵店、エコール・マミ、エバグリーン広陵店)、R1~4店舗(新たにコープなんごうが協賛)</p>	<p>回収数 平成29年度 242枚 平成30年度 1,239枚 令和元年度 1,248枚 令和2年度 719枚</p>
R1	<p>●「広陵元気号に無料で乗ろう！」キャンペーンの実施 町公式Facebookのフォロワー数を増やして、より多くの町民に行政情報を届けるとともに、「広陵元気号」の利用促進を図った。</p>	<p>町公式Facebookに「いいね！」した方を対象に、運賃を、無料にするキャンペーンを実施。</p>	<p>フォロワー数83人増(対象期間: R2.2.15~R2.2.29)</p>
R2	<p>●バスロケーションシステムの導入 交通事情により運行状況に影響が出やすいというバスの性質を踏まえ、「奈良バスなびWeb」にてリアルタイムの走行位置や走行中の広陵元気号の行き先、停車停留所の情報、利用バス停への接近情報がスマートフォンやパソコンから確認できる、バスロケーションシステムを導入。 高齢者の利用が多いさわやかホールには、大型モニターを設置し、当該施設に接近する元気号の情報を投影している。</p>	<p>令和元年度に各停留所に付記したQRコードを活用し、広陵元気号の接近情報等を確認できるようにした。 バスの位置情報が把握できるため、迅速な遅延対応が可能となった。 また、広報、ホームページ、Facebook、元気号車内で周知を行った。</p>	<p>QRコード: 全停留所(100基)に付記 また、乗換サイト(NAVITIME、ジョルダン、駅探、ヴァル研究所)と連携し検索可能</p>
R2	<p>●電子決済サービス(PayPay)の導入 令和2年10月より、運賃支払に電子決済サービス「PayPay」を追加。</p>	<p>利用者の運賃支払いの選択肢を増やし、運行事業者である奈良交通(株)の運賃管理の簡略化を図るため、令和2年10月より、運賃支払に電子決済サービス「PayPay」を追加。</p>	<p>PayPayでの支払: 22,900円(10月~3月) 運賃収入の1%程度</p>
適宜	<p>●高齢者運転免許自主返納の促進 高齢者運転免許自主返納者を増やすため、広陵元気号の無料乗車券を付与する。</p>	<p>高齢者運転免許自主返納者に対し、広陵元気号の乗車券(11枚綴り5冊)を付与する。</p>	<p>高齢者免許自主返納件数 平成29年度 78件 平成30年度 102件 平成28年度以前、令和元年度以降データなし</p>